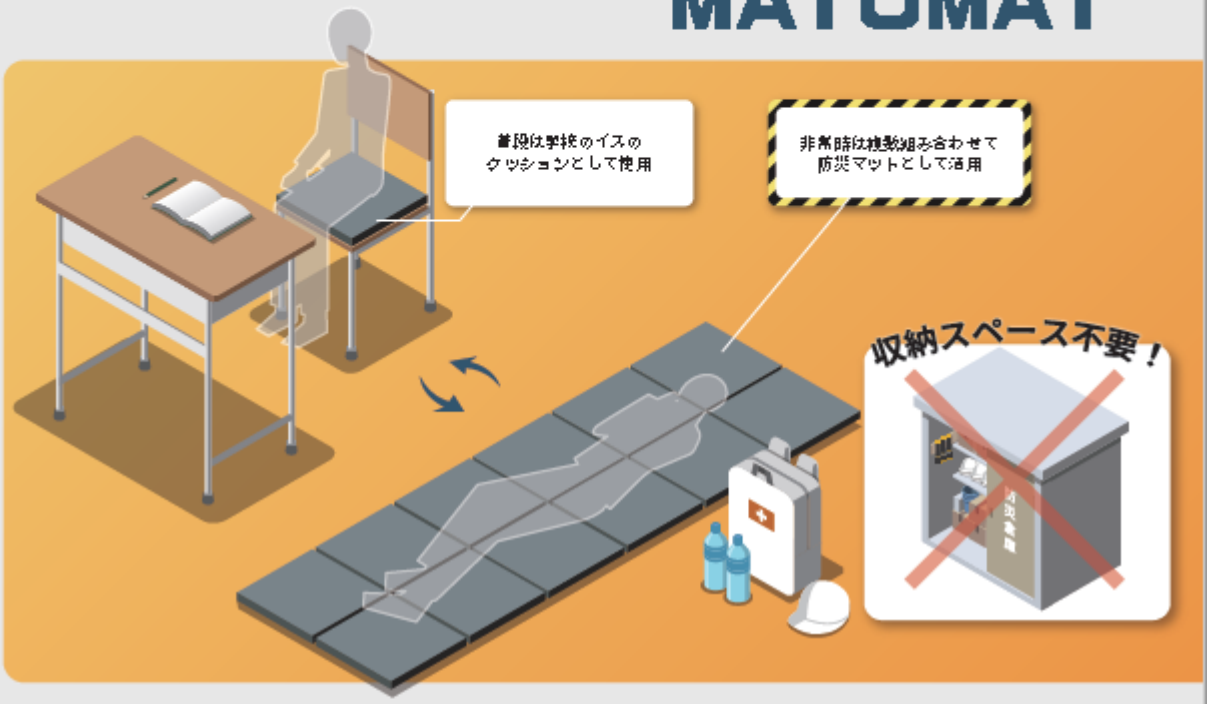
太平洋工業株式会社

普段も、非常時も
いつでも使える防災マット
MATOMAT
マトマット



リサイクル

太平洋工業株式会社

地域経済

株式会社 コーヨー

BONFORM

社会福祉

ひやむぎの家

教育　防災

各自治体

様々な社会課題解決に貢献

導入実績［2024年6月販売開始］	
岐阜県大垣市 2024年6月～　市内全小学校（19校）	岐阜県下呂市 2024年度　モデル校での使用開始
宮城県栗原市 2024年度　市内全小学校（11校）予算化	富山県砺波市庄万自治会 2024年6月～　公民館

石川県への寄贈（令和6年能登半島地震復興支援）
七尾市、羽咋市、内灘町、加賀市 小学校23校 中学校　7校 全国の自治体にて導入検討中

PACIFIC 太平洋工業株式会社

連結可能な防災マット

発明の名称	クッション及びカバー
特許番号	特許第7491524号
登録日	2024年4月30日

[その他権利]
意匠登録　登録第1765940号　(クッション)
商標登録　登録第6736951　(文字商標)
　　登録第6736952　(ロゴ商標)

IMATOMAT

背景

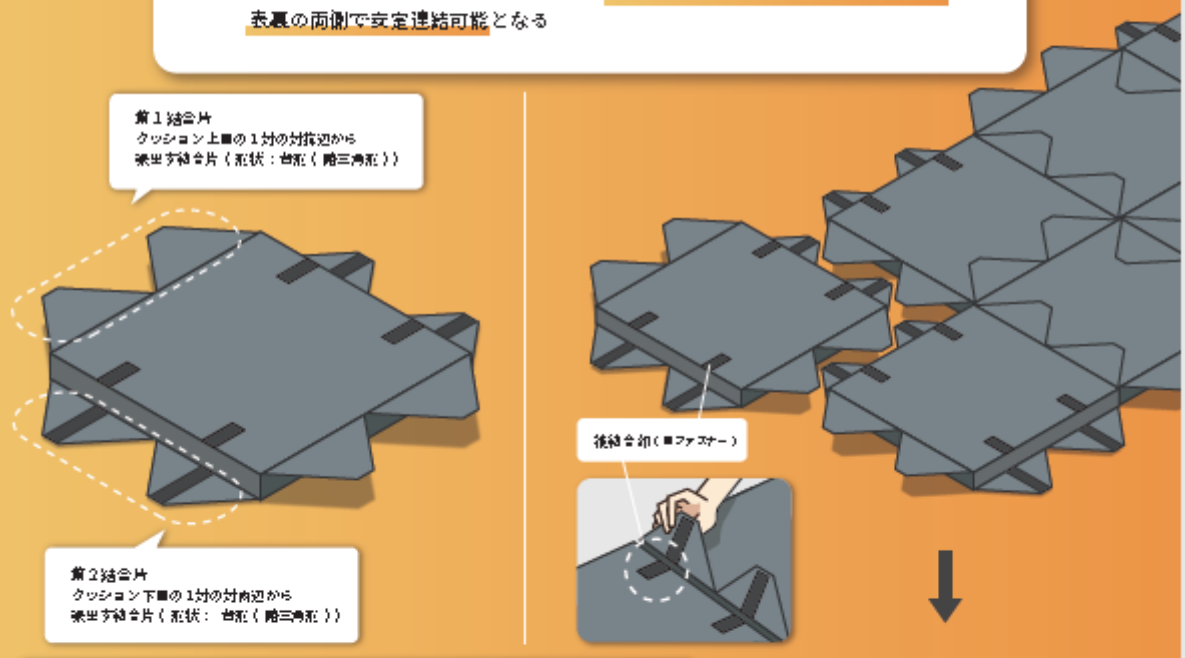
近年、各地で多くの災害が発生し、避難所環境の重要性が高まりつつある。特に、物資の支給が困難で、避難所にマット等が行き渡らず、多くは厳しい生活環境にさらされる。弊社は、社会課題解決のため、普段も、異常時もいつでも使える連結可能な防災マットを開発した。

課題

①クッションを連結させたマットは、クッション間が離間しやすく安定しない
②クッションを連結させたマットは、隣り合うクッション間が沈み込み、フラット形状を維持できず、寝心地が悪い
③クッションの連結・取外し時に手間がかかる

発明のポイント

従来のクッションの表裏に曲げ変形可能な結合片と被結合部を設けることで、複数のクッションを行列状に並べた際、全ての隣り合うクッション同士間が、表裏の両側で安定連結可能となる



発明の効果

①通常のクッションに「第1結合片」と「第2結合片」を設置
　⇒離間が発生しにくくなり安定した使用が可能
②結合片はクッションの各辺全体から張出す構造
　⇒クッション上面の沈込みを軽減し、
　　マットをフラット形状に保持でき、使用時の快適性向上
③全ての結合片は台形（略三角形）構造
　⇒クッションの連結・取外時の作業性向上

PACIFIC 太平洋工業株式会社

マットにして寝転がる児童

マット作成中

椅子のクッションとして普段使いの様子

椅子設置状態

マット連結状態